

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度第7回北諏訪区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【報告事項】

公の施設使用料の減免制度の見直しについて（公開）

### 【その他】

公民館北諏訪分館の移転に伴う既存の備品活用について（公開）

## 3 開催日時

平成28年3月24日（木）午後6時30分から午後7時12分

## 4 開催場所

上越市立公民館 直江津地区館 北諏訪分館

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 白木朝雄（会長）、水上千恵子（副会長）、上石久子、池田栄一、  
小林春雄、諏訪俊昭、高橋登志満、面條榮市、松榮英喜、渡部義夫  
（欠席1名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長  
社会教育課：大山課長、加藤主任

## 8 発言の内容

### 【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【白木会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：小林委員、諏訪委員に依頼

議題【その他】公民館北諏訪分館の移転に伴う既存の備品活用について、担当課へ説明を求める。

#### 【社会教育課：大山課長】

- ・挨拶

1月27日（水）に開催された第6回北諏訪区地域協議会での北諏訪分館移転についての説明の中で、北諏訪分館に設置していたエアコンの取り扱いについて、「移設しない」としていたが、状況が変わったため、説明させていただく。

北諏訪区内での有効利用を図るため、移転先の部屋の大きさやエアコンの能力等について機器の設備業者と協議を行った結果、移転先のエアコン導入台数を見直し、現北諏訪分館にあるエアコンを全て移設することとなった。移転先の建物にも何台か既設のエアコンがあるが、経年劣化が認められるため、今後のことも考え、現北諏訪分館から移設したほうが良いと考え決定した。

4月から施設の供用を開始するのだが、4月3日に開所式を開催するため、本日、委員の皆様にご案内状をお渡しした。

- ・北諏訪地区公民館開所式：4月3日（日）午前9時～ 30分程度

地域協議会委員の皆さんの他に、町内会長、公民館サポーター、公民館を定期的に利用されている方々に御案内しており、多くの方から御参加いただきたい。

#### 【白木会長】

説明に対し、意見、質問等はあるか。

（意見なし）

では、この件について終了とする。

— 社会教育課 退室 —

次に【報告事項】公の施設使用料の減免制度の見直しについて、事務局に説明を求める。

#### 【荒木係長】

この件については、昨年3月の第8回北諏訪区地域協議会に於いて、見直しの方針(案)を行政改革推進課から説明させていただいた。その後、市では、施設の利用団体の皆様方との意見交換や説明会を開催し、減免制度の見直しを行い、本年、4月から運用開始することになったため、減免制度の概要について報告させていただく。

・資料に基づき説明

**【白木会長】**

子ども会連合会に所属していない子ども会は、連合会に帰属しなければいけないのか。

**【関川センター長】**

地域内の子ども会であれば、地域の集会施設については、減免対象となる。ただ、一般の施設や拠点施設については、子ども会連合会に所属していることが分かるよう登録をしていただくことになる。

**【高橋委員】**

「子ども会連合会」という名前は聞かないが、どこの町内も子ども会があるのではないかと。

**【西條委員】**

あると思うが、連合会に入っていないのではないかと。

**【白木会長】**

現状は、地域の町内会館を使っているのですが、公共施設は使わないと思うが、新しい公民館が出来ると状況が変わるかもしれない。

他に意見を求めるがなし。この件については終了とする。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

**【荒木係長】**

次回の協議会について、今のところ確定している議題はなく、現委員で集まれる協議会は最後になると思う。

・各委員へ4年間の活動を振り返り、感想等を述べていただくよう依頼

**【上石委員】**

4年間活動してきたが、地域のために何か役に立ったのかと思っている。

今後も地域のことに関心を向けて、いろいろなことに協力していきたいと思う。

**【池田栄一委員】**

初めのうちは、何をやるのか分からなかった。慣れてくると、この前も地域の仲間から、北諏訪分館の件で「これはどうなっているのか」など質問を受けた。こういう点については、地域の役に立てたと思っているが、会議では、自分の意見を持って出ていなかったという面があったと思う。

**【小林委員】**

4年間の活動の中で、北諏訪区は、他の区と比べて、それ程大問題がなかったように思う。平穩無事で良かったと感じている。

**【諏訪委員】**

4年間の活動で、地域のことや地域活動支援事業の件について審議するのは分かるが、市から出された諮問等で、決まっているようなことは、ただ、意見を述べるだけのため、審議の必要性があるのかと思った。

**【高橋委員】**

地域協議会と町内会との距離が遠いと思った。地域協議会内での議論や、話題になったことが、町内に活かされていなかったように感じた。もう少し距離を縮めて近いものにしたいと思った。

**【西條委員】**

地域活動支援事業費の有効活用を考えるのに一苦労した気がする。地域団体の数が少ない、というのも原因だと思っている。

また、審議が活発になるということは、多くの議題が出て、初めて活発になる。

**【松榮委員】**

あっという間の4年間だったが、ただ採決の挙手をしていただけのような気もする。町内へ帰り、協議会で話し合ったことを説明してほしいと言われても、細かな説明は出来ないため、町内の人もよく分からずに終わってしまうこともあった。

**【渡部委員】**

当初は、地域活動支援事業の審査だけで終わってしまったように感じた。ただ、もう少し違った角度で見れば良かったのだが、時間が掛かってしまう面もあり、会長が毎回のように、この地域は、なかなか突出するものがないということもあり、それをどういうふうに捉えて行ったらいいのかと考えている。この地域は、どちらかと言うと、恵まれている点が多いと感じている。働き場所もすぐ近くにあるし、遊びに行くにしてもそばにあるし、そういう恵まれている中で、もう少し地域性を発揮するには、どうしたらいいのか。私も考えてはいるが、なかなか見出せないこともあるし、逃げ腰になってしまった点多々あったかと思う。

今回、任期を終えるが、今後、違った場面で課題を捉えていき、地域の中で取り組んでいきたいと思っている。

**【白木会長】**

皆さん、一人ひとりの意見は御尤もだと思っている。私も常々、この地域は歴史、文化で継承するものは何かないかと思ってきたが、掘り起こしの文化というものが存在するような気がする。

私は、地域協議会長として、いろいろな場面に出席しているが、北諏訪区は、まだ、地域協議会のあり方というものの認識がよく為されていないと感じている。地域協議会の内容を「協議会だより」で、各戸へ配布しているが、きちんと読んでいただければ、認識されるだろうが、たぶん、読まずに廃棄してしまい、存在すら知らない人がいるのだと思う。まちづくりセンターの皆さんと地域協議会が、啓蒙していかなければならない部分があると思う。北諏訪区には「TMT」で開催している「まつりっち」や地域を挙げての運動会などの活動がある。そこで、地域協議会が、いかに参画できるのか。出来るか、出来ないかの範囲はあるが、そこはまちづくりセンターで色分けしていただければと思う。昨年、有田区、保倉区、北諏訪区で3区合同研修会を開催したが、違った地域の方たちと話し合いをした。いろいろな問題点がある所との交流し、どんなものが提議されているのか、参考にすることが必要だ。まちづくりセンターは大変だろうが、委員の方々も勉強になると思うので、ある程度、推進していただけるものだと思っている。

#### 【水上副会長】

北諏訪区という地域をもっと元気にする、まちづくりをしたいと思い、参加したが、なかなか元気が出なかった。問題がないというのも良いことかもしれないが、皆さんの声が発信されないということもあり、保守的でおとなしい地域だと思う。なので、問題がないということではなく、声が出ないという点で、今度は、皆さんの意見を聞きながら、この会がもっと、盛んな会になればと思っている。地域活動支援事業の提案団体と同じ団体で、同じ団体に継続的に補助金を使っていたのは、悪いことではないが、違う団体からも手が挙がるような仕組みがあったら良いと思う。今、白木会長が言われたように、会の中でも活動をいくつかの班に分かれて分科会をつくることもできるので、他の区の良い所を真似しながら、この会が有意義な、もっと盛んな会になれば良いと思っている。

#### 【関川センター長】

皆さんの御意見をお聞きしたが、決して、地域協議会に力がないという訳ではない。委員の皆さんが地域に戻って、いろいろな話をしていただいたり、地域からいろいろな

話を聞いて、協議会内で話したりすることにより、場合によっては、意見書として、市長に出すことができる。決まったものに手を挙げているだけという訳ではないと思っている。ある案件について、問題があると思ったら、自主的審議等をやる中で、意見書を出す。最終判断は、市長が、「こういう意見もあったが、こうしていこう」と決めるのだと思うが、決して、協議会は力がない、ということとは思わず、これからもお願いしたい。

#### 【西條委員】

次期委員の公募期間中、「地域協議会は何をやるのか」と言われてしまった。北諏訪地区に490万円の予算が配分されていることすら知らない人が多い。なので、地域協議会が一般市民に行き届いていないことは確かだと思う。今回の委員公募で高田区が3人オーバーしている。これは、浸透しているということではないか。そういう場に出て協議したいという考えの人が多いのだと思う。他区は、定員の50%も応募されていない所がある。それは、市民に浸透していないということ。

市では、「これだけの方に応募してもらって、浸透している」という認識のようだが、市と地域の認識については、ギャップがありすぎる気がする。

#### 【白木会長】

地域協議会そのものの浸透がしていない。私は、私の町内会で、行事等の時に挨拶をする際、「地域協議会というのはこうだ。490万円の予算をいただいている。一念発起してほしい」ということを、必ず話をしている。まちづくりセンターで「地域協議会だより」を出して、北諏訪区地域協議会の490万円という金額について、提示をしている。このような形で発信しているが、受け手としては、なかなか捉えてもらえない。そこをいかに、北諏訪地域にきちんと根付かせるためには、何をしたら良いのか。それを私達委員が、発信しなければならない。あるいは、行政の皆さんが、説明会等も大変だと思うが、公の場所で、説明会等をしていただいで、現実的な話をしていただければいいのか。とも思う。どちらが良いのか分からない。

#### 【西條委員】

地域活動支援事業費で防犯灯を設置したが、「これを地域協議会でやった」と言っても「そうなのか」だけで終わりである。地域協議会便だよりに「地域活動支援事業で実施しました」と出ているのに、それだけで終わってしまう。

#### 【白木会長】

私は、北諏訪地区町内会長協議会長でもあるため、町内会には説明をするが、説明す

る機会がない方は、是非、PRしていただきたい。

- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。